

Photo ふなばし

とくしゅう
PART 2

ふなばし夏模様



市内三咲町で



ゆすり込みながら練り歩く湊町みこし



夏の高校野球千葉県大会の準決勝成田戦で、5回同点に追いつき、わき上がる市船応援席

とくしゅう
PART 1

設備・内容・システムが充実 船橋の図書サービス

まちにエネルギーを運んで

MOVE JR船橋駅開業100周年

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信 ● ズームアップ
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー



北図書館の児童図書コーナー

vol. 62

広報ふなばし写真版

MOVE

まちにエネルギーを運んで JR船橋駅開業100周年



昭和初期の船橋駅

かつて、成田街道最大の宿場町として栄えていた船橋に、明治27年7月20日、民営の総武鉄道が開通（市川～佐倉間）し、船橋駅が誕生しました。このときから、宿場の利用客が激減し、船橋はさびれていきました。しかし、鉄道の開通は船橋に新しい風を吹き込んだのです。交通の要衝となった船橋は、地方商業都市へと転換し、再びまちに活気がもどりました。

総武鉄道は、明治40年9月に国有鉄道に編入され、昭和62年4月にはJR東日本が設立されました。この間JR総武線は、まさに船橋の大動脈としての機能を果たし、まちの発展を支える人や物資、情報など様々なエネルギーを運び続けてきたのです。

JR総武線以外にも8路線の鉄道が市内を走る船橋は、全国でも珍しいほど鉄道網が整備された都市です。10本目となる東葉高速鉄道も全線で着工。ますます充実する鉄道網は、船橋の発展に欠かせない重要なエネルギー源です。



記念式典のくす玉割りの後、常澄安範JR船橋駅長と大橋和夫市長が握手を交わしました



船橋駅の環境美化に貢献した皆さんに感謝状が贈られました

設備・内容・システムが充実 船橋の図書サービス



移動図書館車「まつかぜ号」。2週間で46か所のステーションを巡回します(若松団地)



会社員から学生まで利用者が幅広い中央図書館



北図書館の受け付けカウンター。全図書館の本がコンピュータで管理されているので、探している本がすぐに検索できます



北図書館のAVコーナー。休日は子供たちがいっぱい



北図書館の地下にある書庫。約50万冊の本を保存できます



図書館とオンラインで結ばれている丸山公民館図書室



各図書館で毎週水曜日、子供たちに昔話や童話などを語る「お話し会」が行われます(東図書館で)



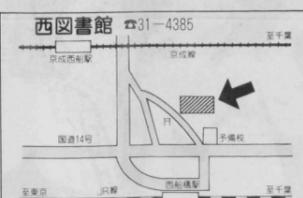
明治21年からの新聞をマイクロフィルムで保管(北図書館)



古文書は、光ディスクで閲覧、複写できます(西図書館)



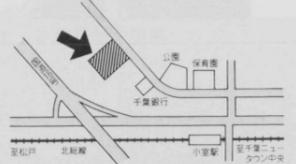
国周作の錦絵「伏姫と八犬士」(西図書館収蔵)



新京成二和向台駅から徒歩1分の北図書館



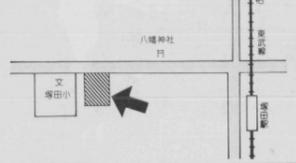
小室公民館 51-5144



丸山公民館 39-0118



塚田公民館 38-2610



水曜日と金曜日は、夜7時まで利用できます



西図書館の児童室は子供に大人気

船橋市には、現在、北、西、東、中央と4つの図書館があり、蔵書数は約60万冊。この図書館はオンラインで結ばれ、蔵書や本の貸し出し・返却をコンピュータで集中管理しています。このため「探している本が見つからない」というときでも気軽に職員に相談すれば、その本が有るのか無いのか、どの図書館に有るのかを瞬時に判別できます。さらに、借りた本はどの図書館でも返却できます。さらに、また、「予約・リクエスト」のサービスを行っているため、貸し出し中の本の予約を受け付けたり、市内の図書館に無い本は、他市や県立の図書館から借用または、購入して皆さんの要望にお応えしています。

船橋市の図書館は、それぞれ特徴があります。北図書館には、ビデオテープやレーザーディスクを自由に見られるAVルームがあり、一部は貸し出しもしています。西図書館は、船橋についての古文書や錦絵など貴重な郷土資料を所蔵し、光ディスクやカラスライドを利用して閲覧できます。東図書館には2台の移動図書館車があり、図書館から遠い地域の図書サービスを行うため、市内46か所のステーションを巡回しています。中央図書館はオフィス街にあり、昼休みには会員の皆さんがたくさん利用しています。

このほか、塚田、丸山、小室の公民館図書室も図書館とオンラインで結ばれ、図書館の本の貸し出し、返却の窓口として利用できます。充実した船橋市の図書館網。市民の皆さんの身近な本棚として気軽に利用してください。

ふなばし夏模様



明るく魅力的に生まれ変わった「本町・宮本通り」で、7月24日に開催された市民まつり。民謡パレードが通りを埋め尽くしました



水遊びはチビっ子たちの得意技（天沼弁天池公園）



夏の浜辺でバーベキュー
（海浜公園）



店先には浮き輪や花火など、夏を楽しむ商品が並べられます



枝豆の最盛期。出荷準備に大忙し（印内の田中保治さん宅で）



市民まつりのパレードで市民の皆さんに手を振る大橋和夫市長とミス船橋の岡村優花さん



市民まつりのフィナーレを飾る「ばか面おどり」



夏祭り大好き（市民まつり二和会場）



子供たちは花火が大好き（行田団地）

（暑くなれば商売にならないという人もいるでしょうが。）ハンカチを片手に汗をふきふき通勤する会社員。炎天下で作業する人も大変です。でも、仕事を終えて、ビアガーデンで夜風にあたりながら、生ビールを一気に飲み干すという楽しみもあります。

子供たちにとっては、待ちに待った夏休み。プールや海水浴、あるいは家族旅行など、真っ黒に日焼けして元気に遊ぶチビっ子たちの姿が目につかびます。花火の好きな子は、夕方になるとお父さんやお母さんに「花火をやりたいよ。いいでしょ？」と待ち切れなくなっているかも知れません。そうそう、高校野球も夏の風物詩の一つです。高校球児の活躍に、テレビの前にくぎ付けなんて人も……。

仕事をしている皆さんにとっては、夏の暑さがやたらと恨めしい時期でもあります。船橋の最大のイベントといえば、「ミスふなばしコンテスト」に始まって、「めいど・いん・ふなばし」、「ジョイ&シヨッピングフェア」、「市民まつり」、「私があげる花火大会」と続く船橋市産業まつり。特に7月23・24日の2日間は、船橋会場をはじめ、中山・二和向台・習志野台・三山の各会場で市民まつりが開催され、まち全体がお祭りの熱気に包まれました。

毎年このお祭りを楽しみにしている方も多いと思いますが、皆さんは、夏といえば何を思い浮かべますか。地元の盆踊り大会に、浴衣姿で出掛けて、踊りの輪に入ったり、金魚すくいやかき氷わたあめなどの露店をのぞいて楽しむのもいいですね。



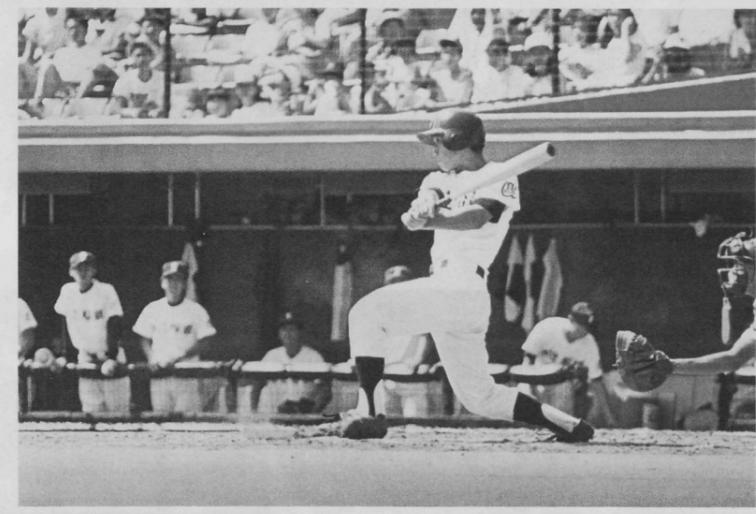
ワンパク王国は子供の天国。水さえあれば大はしゃぎ



船橋市民の森のカブト虫。市内にはまだまだ自然がいっぱい



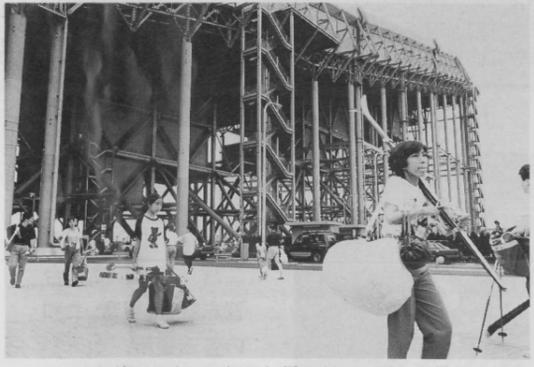
百貨店の屋上で行われているビアガーデン。暑さもストレスも一気に飲み干します



夏の甲子園を目指す千葉県大会の準決勝で、市船は成田と対戦。5回岩下選手の中前打で4対3と一気に逆転したが…(千葉マリスタジアム)



電車の待ち時間も暑くて大変。ふいてもふいても汗がでます



Tシャツ姿にスキーの板。船橋の新しい夏の光景です



大神保青少年キャンプ場。夜は楽しいキャンプファイヤー



今日はみんなで七夕まつりをしました (行田保育園)



涼を呼ぶ風鈴の音色

新小川の文化財

八幡神社 (前貝塚町)

東武塚田駅の西口からまっすぐ塚田小、塚田公民館方面に歩いて、すぐ右手に一塊こもりした森が見える。近づくと道に面して石の鳥居が立ち、その両側に右に三基、左に二基、古くは宝曆、文政、新しくは明治の庚申塔が並んで立っている。

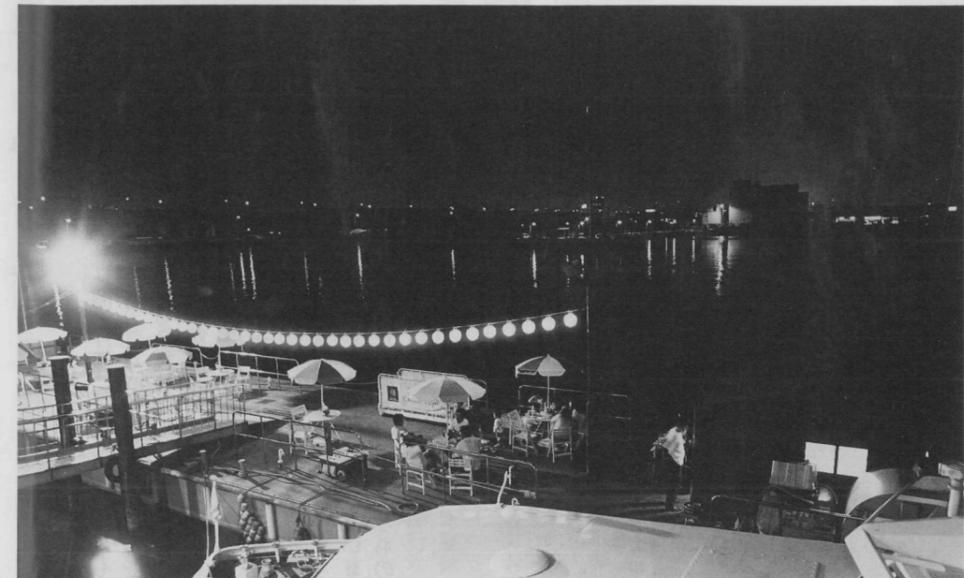
鳥居を入ると、両脇に根上がりのモチの古木。狭い境内に加え、シイ、ケヤキの大樹がおのこの数本ずつも繁茂している。真夏のこの白昼にも境内は小暗い。小舎があり子安観音が二体、黄土色の埃を薄くかぶったまま、赤ん坊に豊かな乳房を与えている。

参道の先に本殿は見えるのに、どうも拝殿が感じながら近づいて、また驚いた。拝殿の土台はちゃんと廻っている！カヤ葺屋根の本殿の、手前の方は黒焦げだ。改めて四圍の木々に目を転ずれば、枝の先はみな枯れ葉もはや最近火災に遭遇した事実を疑わなから。

幸い本殿は類焼を免れた。重厚な屋根の造り、四圍廻らした勾欄、二重柱で軒を出して正統の作風が、全体の印象は近在知り合いの宮大工手作りの簡素な味わいである。

(文・大木 勲)

重厚な屋根の本殿



ららぽーと棧橋の船上ビアガーデン



海浜公園のスライダー。お父さんお母さんと一緒に気分最高

デンマークの巨匠オルセンが描く
アンデルセン童話の世界原画展



来場した皆さんが、アンデルセン童話の世界を味わっていました

6月14日から19日まで市民ギャラリーで、'72国際アンデルセン賞画家賞を受賞したイブ・スバング・オルセン氏の「アンデルセン童話の世界原画展」が開催されました。これは、姉妹都市として交流を続けているアンデルセンの故郷オーデンセ市（デンマーク）との友好を深めるために行われたもの。

古くから世界中の人々に親しまれている童話の原画だけに、連日たくさんのお客様が訪れていました。また、19日にはデンマーク大使館リンドブラッド領事の講演も行われました。



リンドブラッド領事がデンマークの暮らしについて講演しました

大人顔負けの白熱した対局
第7回船橋市小・中学生将棋大会

6月11日、青少年会館で第7回船橋市小・中学生将棋大会が開かれ、参加した52人の少年棋士たちが、大人顔負けの鋭い指し手を盤上に繰り広げました。優勝したのは、小学生の部が吉田直弘君（日本第一学園小6年）、中学生の部が房枝大介君（坪井中3年）。また、八木が谷在住のプロ棋士所司和晴6段による対局解説や参加者との10人対局も行われるなど、少年棋士たちは有意義な一日を過ごしました。



子供だって真剣勝負。白熱した対局が展開されました

太宰治を偲んで
船橋桜桃忌



太宰治作品を愛好する皆さんが、花束を捧げました

6月19日、中央公民館前の広場で、船橋ゆかりの文豪太宰治を偲ぶ船橋桜桃忌が行われました。ここには、太宰作品の一節を刻んだ記念碑と一緒に、彼がかわいがって育てていた夾竹桃が植えられています。

時折強くなる雨の中、太宰治を愛する皆さんが黙とうし、記念碑に花束を捧げました。



▲少しでも使いやすい介護機器を…と、熱心に説明を受けていました



介護の実演も行われました▶

～人にやさしい介護機器～
'94介護機器展開催

7月15日から17日までの3日間、船橋市民ギャラリーで、'94船橋市介護機器展が開催されました。

テーマは「みて ふれてください 人にやさしい介護機器」。ねたきりのお年寄りなどを介護する方に、直接介護機器に触れ、その機能や使い方を知っていただき、少しでも介護者の負担を軽減しようというものです。

会場には車椅子に乗ったお年寄りとそのご家族、家庭で実際に介護している方など多くの皆さんが訪れ、リフト付きのベッドや野外用の車椅子など最新式の介護機器を、実際に試したり熱心に説明を聞いている姿が見られました。



祝 船橋市女性センター開館

▲大橋和夫市長と関係者の皆さんによるテープカット



◀藤原房子氏を講師に迎えて行われた開館記念講演

女と男の生き方がし応援します
船橋市女性センター
オープン

6月1日、船橋スカイビル内に船橋市女性センターがオープンしました。これは、あらゆる分野で男女がともに参加できる社会を実現するための、様々な活動や交流の場として開設したものです。

施設の中には、女性問題についての書籍を閲覧できる図書・情報コーナーや交流コーナー、会議室、研修室などがあります。また、女性のための各種相談や講演会など、多彩な事業も展開して、性別にとらわれない新しい生き方を目指す皆さんを応援します。
所在地：宮本2-1-4
☎ 23-0757

県内で初めてスタート
印鑑登録証明書の自動交付

7月1日から、印鑑登録証明書の自動交付がスタートしました。これは、磁気カードを使い、自動交付機から印鑑登録証明書を発行するシステムで、県内では船橋市が初めてです。交付機の設置場所は、市役所1階の市民課や出張所など10か所。待ち時間が短縮されただけでなく、市民の皆さんが利用しやすいように、連絡所の利用時間を、平日は午後7時まで、土曜日は午前9時から午後5時までとしました。なお、従来の印鑑登録証は、すべて新しい磁気カードへの切り替えが必要です。



第一号の利用者の方に花束が贈られました

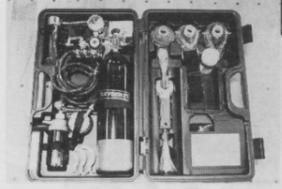
自動交付機設置場所

- 市民課
- 二宮、芝山、高根台、習志野台、豊富、二和の各出張所
- 船橋駅、西船・津田沼駅前の連絡所

☎36-2267



市立の全学校に
酸素自動蘇生器設置



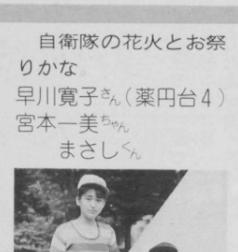
▲講習を受ける体育教諭の皆さん

◀酸素自動蘇生器

プールでの事故や万一の事態に備えて、船橋市では小・中学校など全84校に酸素自動蘇生器を設置しました。これは、窒息やぜんそくなど呼吸が困難な患者の肺に酸素を送ったり、のどに詰まった異物を取り除くもので、約300%の圧縮酸素がポンペに詰められています。6月8日には大穴小学校で体育教諭を対象にした講習会が行われました。また、公立・私立の保育園にも蘇生器が設置されます。



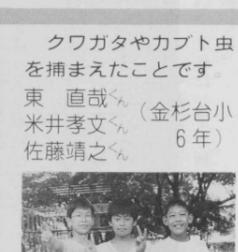
昔は、よくクワガタなどを見かけましたね
鶴田初江さん（東船橋3）
彩実ちゃん（4歳）
松尾綾香ちゃん（3歳）



自衛隊の花火とお祭りかな
早川寛子さん（薬台台4）
宮本一美ちゃん
まさしさん



毎年恒例の地元の夏祭りが楽しいですね
中村治男さん（高根台4）



クワガタやカブト虫を捕まえたことで
東直哉さん（金杉台小）
米井孝文さん（6年）
佐藤靖之さん



子供と一緒に、素手でセミ捕りをしたのが印象に残っています
ダナホー・君子さん（山手2）

市民ひとことインタビュー
テーマ
あなたの夏の思い出は？

ふなばし 夏の郷土芸能



激しいお神輿のゆすり込み

神保ばやし

7月24日、神保町の須賀(すか)神社で、神保ばやしが行われました。これは、悪霊を追い払うために毎年夏と秋に行われており、市の無形文化財になっています。午後6時のお囃子の音とともに、近所の皆さんが集まり始めました。やがて、お神輿が激しくゆすり込みながら町を練り歩くと、その後山車が続きます。山車の上では、笛や太鼓のお囃子に合わせて、おかめ面を付けたユーモラスな踊りが披露されました。



▼スーパーの買い物袋も救命具に

▲真剣に講習を受ける子供たち

海神小学校で 着衣水泳の講習会

服を着たまま海や川に落ちたときのために…と7月19日、海神小学校で着衣水泳の講習会が行われました。NASスイミングスクールの協力で、5年生の児童を対象に行われたこの講習会。「重くて泳ぎにくい。」と話していた子供たちですが、夏休みを前に貴重な体験をしました。



プールでヤゴを捕まえる子供たち

トンボを救おう プールのヤゴ捕り大会

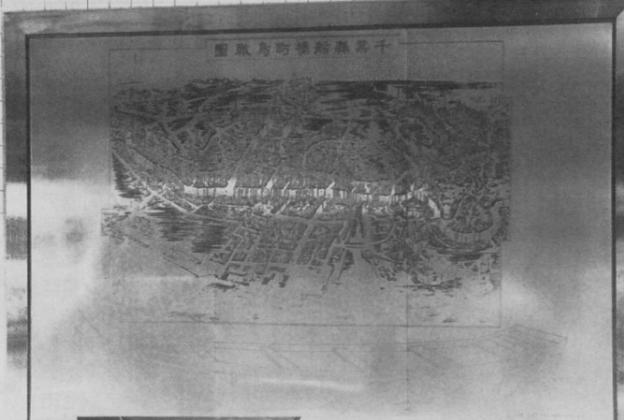
6月12日、「プールのヤゴ捕り大会」が運動公園で行われました。これは、冬の間に使用していなかったプールで育ったヤゴを、プール清掃の前に捕獲して、1匹でも多くのトンボを育てようといわれたものです。当日は、「ふなばしにトンボを育てる会」の呼び掛けに、約360人の親子が集まり、100匹ほどのヤゴを捕獲。各家庭に持ち帰ったヤゴがふ化するのがとても楽しみです。

船橋市インディアカ協会 設立記念大会を開催

市内の各地域で活動しているインディアカチームのネットワーク化を図り、さらに活発な活動を展開していこうと、船橋市インディアカ協会が設立され、6月26日総合体育館で、記念大会が開催されました。この日は、市内のチーム18組と招待チーム5組が参加。ブロック戦と親善試合が行われ、お互いの技とチームワークを競い合う熱戦が繰り広げられました。



数々の熱戦を展開しました



除幕式には、大橋市長や船橋小学校の児童の皆さんも出席しました

銅板は221人の協賛によって作られました

船橋の歴史を後世に
船橋町鳥瞰図の
銅板を設置
JR船橋駅南口に、昭和2年当時の船橋町の鳥瞰図を刻んだ銅板が設置され、6月4日大橋和夫市長や関係者の皆さんによって、その除幕式が行われました。これは、「船橋の歴史を後世に残そう」と平成元年に発足した鳥瞰図設置実行委員会が、市民の皆さんに協賛を呼び掛けて完成したものです。鳥瞰図は、空を飛ぶ鳥の目から見たまちの様子を描いたもので、作者は画家の松井天山。銅板は、縦180cm、横255cmで、100年の風雪に耐えます。次代を担う人々の大きな財産となるでしょう。

天沼弁天池公園に 伊藤白潮さんの句碑を設置

6月27日、天沼弁天池公園に、船橋市在住の俳人、伊藤白潮さんの句碑が建てられ、その除幕式が行われました。伊藤さんは、嶋俳句会主宰や俳人協会評議員として活躍しており、会場にはたくさんの皆さんが集まりました。伊藤さんや大橋和夫市長をはじめ、関係者の皆さんによって除幕が行われると、会場から大きな拍手が贈られました。古くて新しいまち船橋に、また一つ文化の名所が誕生しました。



「みの虫の 遊びをせんとや 蓑を出で」と刻まれた句碑。左から4人目が伊藤さん

船橋青年会議所 駅前清掃とチャリティーコンサート



▲楽しいトークとすばらしい演奏が披露されました



毎月第2火曜日の早朝清掃▶

(社)船橋青年会議所では、「行動で示そう、住んでみたい街作り」をスローガンに行っている美化運動の一つとして、今年の1月から毎月第2火曜日に、船橋駅前早朝清掃を行っています。また、7月15日には「加瀬邦彦&ザ・ワイルドワズ」のチャリティーコンサートを開催し、その収益金を船橋市に寄付しました。

ブームアップ

俳優・声楽家
石鍋多加史さん(二宮)
いい舞台は観客も
自分も豊かになります



「キャバレー」でユダヤ人のシュルツ役を演じる石鍋さん(左)

ある日、新高根公民館で活動している合唱サークルを訪ねた。そこで指導に当たっていたのが石鍋さんだった。ユモアあふれる表現と、ユニークでテンポのある指導が、サークルの皆さんを見事に惹き付けていた。しかし、石鍋さんの本業は舞台。芝居、ミュージカル、オペラと幅広く活躍している。90年文化庁芸術祭賞を受賞した「うたよみざる」、二期会の「マイ・フェア・レディ」、セロニミューシカル「キャバレー」、屋根の上のバイオリン弾き」など数多くの舞台に立っている。そして、91年文化庁芸術祭賞に輝き、プロドウェイにあるアクターズスタジオでも公演して絶賛を浴びた、「THE WINDS OF GOD」も代表出演作品の一つ。また、市民オペラやみやもと三百人劇場の「森の音楽座」なども積極的に出演して、すばら



来年の6月には「ラ・マンチャの男」に出演します

しいパトロンを聴かせてくれた。しかし、初めから舞台を目指してはいなかったという。普通の会社員だった石鍋さんは、アマチュア合唱団に所属していた。27歳のころ音楽をききながら勉強しようと、仕事を続けながら音楽科教員の資格を取得。そこで音楽に興味を持ち、二期会の研修生へと進んだ。2年目から、少しずつ舞台に立つようになったのだが、3年目に入ってから本業の仕事が忙しくなってきた。必死で研修生としての決断を迫られた。すでに舞台上に魅せられていた石鍋さんは、16年間勤めた会社を退職し、現在の道に進むことになったのである。「舞台では、役者と観客がお互いにエネルギーを与え合っているんです。いい役者は人間的にも素晴らしい。私もそうありたいと思います。一言一言にとても深みがあります。石鍋さんの今後の活躍を期待せすにはいられない。」

ふなばしの民話

重右衛門ばなし(九)
重右衛門の操縦法(11)
文・村上昭三



そこで、旦那は一計を考え、次の日の雨の降る朝、重右衛門に向い「今日は雨が降って天気が悪いから、これではだれにも出来ないな。これじゃ休んだ方がええぞ」と言いました。すると、重右衛門は蓑と笠を身につけ、田圃に行きました。そして、何人前も田圃をやり、意気揚々と戻ってきた。それから少し立ったある風の強い日に、旦那は重右衛門を呼び「こんな日は、重右衛門にもきつんだよ。ぼちぼちやりなさいよ」と言いながら、田圃を言い付けました。これにも、重右衛門は文句一つ言わないう、朝飯前に「反歩(10アール)も耕い、その後でまた一生懸命に働きました。旦那は、この様子をじっと見ていました。ここで、「やれ」と言うどへそを曲げ、「これはだれにも出来ないな」と言うど率先してやるという癖を見抜きました。そこでそれ以来、逆のことを言っていて、重右衛門の持っていた力を存分に引き出すように、上手に使ったという事です。

アイ・ラブ・フナバシ



「日本に来た時に、洗たく物や布団などがペランダに干してある光景を見て、カルチャーショックを受けました。」とマルセラさんは、チリのサンチャゴのご出身。2年前ご主人の仕事の関係で来日し、以来船橋に住んでいます。ご主人とは職場で恋愛の末結婚。現在、ご長女の愛花ちゃん（2歳）、太陽君（10か月）と4人暮らしです。

「この辺りは、近くで買い物もできるし、静かな環境なのでとても気に入っています。娘にも沢山の友達ができました。お陰で私より日本語が上手なんです。」とやさしくほほえんでいました。

静かな環境が、とても気に入っています

マルセラ・ベラトリス
デ 行田さん
(習志野台2)



マイ・ファッション

女性らしさを失わないように気をつけています

鈴木 美穂さん (本町3)

「女性らしさを失わないように気をつけています。」好きな色は白・黒・青。買物は主にV・Vなど駅の近くで。デザインを見て気に入ったらすぐに買ってしまおうか。船橋つ子の鈴木さんは、お祭りが大好き。小さいころからばか踊りを続け、はじり乗りの若鷲連にも参加して、手古舞をつとめます。そして、若鷲連の中でも特に祭り好きが集まって「粋和会」を作り、夕ボシシャツ、腹がけに身を包み、鳥越神社や三社の祭りに出掛けるそうです。また、江戸芸かっぱの「梅由会」にも所属して、色々なイベントで踊りを披露しています。「ばか踊りが一番好きなんです。でも、最近はお子供が少ないので、地元の町会で市民まつりに参加できないのがとても残念です。」

夢は、結婚して温かな家庭を作ること。きつと持ち前の明るさで、夢をかなえることでしょう。



▲オーナーのアリさん(中央)とご家族

鍋の裏を使ってチャパティを作ります

お店

インド料理
むにーるぜなぶ

習志野台4-59-22
☎0474(69)2694

住宅街の一角に、数件の飲食店が建ち並んでいました。その突き当たりにある白いおしゃれな建物、インド料理のお店「むにーるぜなぶ」です。お店の名前は、経営者のモハメド・アリ・カーン・ゴリさんの、ご両親のお名前から付けたとか。店内は、インド風の装飾が施されていて、カレーの香りが漂っていました。「インド料理は辛いのが本来の味です。この店でも44種類の香辛料を使っているんですよ」とアリさん。日本では20種類くらいしか手に入らないため、足りない分はアリさんが直接インドに行き採り入れてくるそうです。「香辛料には、薬のような効果もあって、風邪や体がだるい時などには良く効くんですよ。」カレーを注文すると、ライス以外にもチャパティとプーリというパンを出す店が多いようですが、ナンはインドでは特別な場合にしか食べないそうで、チャパティが一般的だそうです。香辛料の効いたカレーを食べ終わると、本当に元気が出てきたような気持ちになりました。

地元の子どもたちへのふれあいを大事にしているアリさん。本業はインドの細密画の画家。「いずれは本業を中心にやっていきたいですね。」と話していましたが、常連のお客さんも増えたというこのお店も、長く続けてほしいと思います。

あとがき

◇毎年、ジョイ&ショッピングフェアや市民まつり船橋会場の舞台となっていた「本町・宮本通り」の第一期改修工事が完成し、明るく魅力的な通りに生まれ変わりました。

この事業は、本町通り商店街振興組合(木下喜雄理事長)と船橋市が協力して、平成5、6年度の2か年計画で実施しているものです。

整備する区間は、海老川橋から西向き地蔵の所までの約700メートル。そのうち第一期工事として完成したのは、駅前通りとの交差点から東側400メートルの区間です。

アーケードを撤去、電線などをケーブルを地中化、カラフルな歩道やおしゃれな街路灯・信号機を設置して、とても広く快適な空間ができました。さらに、すてきな電話ボックスやモニュメントを置き、ハナミズキを10メートル間隔で植栽。見ているだけで、何だか楽しくなる。そんな本町通りを歩いてみませんか。



市内の百貨店の壁に
巨大な映像が

7月1日から12日まで、市内の百貨店の壁面に巨大な映像が映し出されました。幅10m、高さ20mの映像は、壁面から80cm離れた船橋駅北口のおまつり広場から投影されたもの。花火やひまわりなど夏の風物が映されると、帰宅を急ぐ皆さんも、足を止めて見入っていました。

海老が作陶芸サークル会
海老が作公民館



思いどおりの作品ができたときはうれしいですね



形を整えるのが、また大変

「作る楽しさと、自分の作品で料理を食べたり、花を生けたりできるのが最高です」と皆さん。発足は10年前。現在、25人の会員の皆さんが、毎月第2・4日曜日の夜に活動しています。また、20歳代から70歳代までと年齢層も広く、ご夫婦で楽しむ方も多くいます。皿や花器、湯飲みなど色々な物を自由に作っています。土練りにはじまり、成形、加工など幾つもの工程を経て、2か月くらいかけて作品が仕上がります。中でも、土練り、乾燥、本焼がとても大切だそうです。今後は登り窯にもチャレンジしたいというこの会、あなたも一緒にいかがですか。

(連絡先: 崎山秀夫 ☎66-3393)

みんなの
広 場

サークル
通 信

習志野茶道サークル
習志野台公民館

発足から10周年を迎えたこのサークル。表千家教授 小山宗明先生の指導を受けながら、10人の会員の皆さんが毎月第1・3水曜日に定例会を開いています。また、茶華道センターでのお茶会、手近な材料でできる懐石料理や和菓子作りも行うなど楽しく活動しています。「茶道は、お茶だけでなく、書、花、陶芸を含む総合芸術で、幅広く奥が深いものですが、堅苦しく考えず、相手を楽しくおもてなしする心を大切にしています。」と戸塚さん。現在、会員募集中、特に男子部を作りたいので、男性の参加をお待ちしています。

(連絡先: 戸塚静雄 ☎25-6278)



▲老若男女を問わず楽しんでます

季節でお茶のたて方が変わります

塚田フォークダンスクラブ
塚田公民館



うまく決まってニコリ

健康づくりにも最適です。皆さんもいかがですか

公民館の講習会がきっかけで生まれたこのクラブは、今年で7年目。28人の会員の皆さんが、毎週木曜日の午後18時から前島好子先生の指導でフォークダンスを楽しんでいます。美しい手作りの衣装を身に付けて、世界各地の曲に合わせて、華麗なステップを踏んでいました。「フォークダンスは、やさしいものから難しいものまでいろいろあるので、それぞれのレベルに合わせて楽しめるのが魅力ですね。」と代表の川崎さん。和気あいあいと楽しく踊るのがモットーのこのクラブ、皆さんも是非一緒にさわやかな汗をかいてみませんか。

(連絡先: 川崎ひろみ ☎24-2578)



夜はクマのぬいぐるみを抱いて、ご主人と寝てるんだ

僕の名前はリリィ。もうすぐ4歳のれっきとした男性なんだ。先代の名前をもらったんです。好物は、海老の天ぷらに鮎の塩焼きとお刺身。鱈や煮干しはちょっと苦手なんだ。生意気なんて言わないでよ。甘い物もOK。カステラやプリン、そしてケーキもグー。だから最近太り気味。ダイエットしなくちゃって思ってるんだけど、ついつい…。ところで、僕の首を見て。ひもが付いているけど、決していじめられているわけじゃないんだ。迷子にならないように付けてあるんです。というのも、以前お散歩に行ったら帰って来れなくなったことがあるんだ。けっこう自分でも気に入っているよ。昼間は庭の木の下で涼んでいます。ご近所でも人気者。9月12日には、待ちに待った4回目のバースデーパーティー。今からとても楽しみだなあ。

なまえ

リリィ
(トラ猫)

オーナー

片岡和子さん
(本町4)

ペットインタビュー

「友好都市」締結へ
船橋市と中国・西安市が



昨年10月、友好交流5周年を記念して、約300人の友好使節団が西安市を訪問。大雁塔の近くに「友情無限」の石碑を建立しました

船橋市と中国・西安市は、気功や囲碁など様々な交流を続けていますが、7月22日、西安市の才副市長から両市の友好(姉妹)都市締結が、中国中央政府に承認されたことを知らせる通知が届きました。中国では友好都市は1か国2都市を原則としていますが、西安市は、すでに奈良市、京都市と友好都市を締結しており、今回の承認は特例的なことです。

昭和63年4月、「友好交流促進合意書」を取り交わして以来、両市は市民レベルの交流を続けており、昨年10月には、合意書締結5周年を記念して、大橋和夫市長を団長とした総勢約300人の市民の皆さんが西安市を訪れ、友好を深めました。また、今年の4月、西安市の代表団(団長：崔林濤西安市長)が船橋を訪れたときに、友情の証として桜の苗木3000本を西安市に贈ることや、両市の小・中学校で姉妹校を提携することなどが約束されています。正式な調印は秋ごろの予定で、今後両市で協議を進めていきます。



西安市からの通知を手に喜びの表情の大橋市長

スポーツで健康ふなばし
こんにちは...



第13回 総勢300人が基盤で熱い戦い
船橋市・千葉市民親善囲碁大会



4クラスに分かれて競いました



開会式でガッチリ握手する大橋和夫市長(左)と松井旭千葉市長

6月26日、第13回船橋市・千葉市民親善囲碁大会が千葉市の中央コミュニティセンターで開催され、朝早くから、両市の市長を含むおよそ300人の皆さんが参加しました。熱戦の結果、船橋市が205勝、千葉市が166勝で船橋市の勝利。通算(対戦成績は、船橋市の8勝5敗となりました。